

まずは、語り合いましょう。

～ 不登校の状況 をどう捉えるのか～

コロナ禍を経て、全国の不登校の児童生徒数が過去最多となっており、それは可児市においても例外ではありません。数十年前は「登校拒否」と言われた不登校は、その背景も様態も大きく変化しています。これまで、不登校は「家庭」「学校」「個人」「社会」と様々な要因があるとされてきました。しかし現在においては、不登校は「一つの生き方」とされています。

つまり、その子どもの特性や個性も重要視されるようになってきているのです。子どもが集団の中で過ごし集団で活動することは当たり前のこととされてきました。それができない子がいると、「なぜ学校に行かないのか？」と原因を追求されてきました。生来、読み書きが苦手な子や運動が苦手な子がいるように、集団で過ごすことが苦手な子も少なからずいます。その子たちは、「登校するのが当たり前」という社会的な枠組みの中に入ることができずに立ちすくむのです。登校できないことを問題とは考えず、その子の有り様をそのまま受け入れる必要があります。

2017年に施行された「教育機会確保法」では、不登校の児童生徒について、学校復帰を前提にしたこれまでの方針を大転換し、「個々の不登校児童生徒の状況に応じて必要な支援が行われるようにすること」などが理念として掲げられています。学校に行かなくなった子どもの「休養の必要性」も明記されています。学校に行かない子どもが登校しないことに罪悪感を抱えることなく、その子の特性や状況に応じた支援を受けることができることを目指すということです。どんな子どもも、ありのままの自分を認め、自分らしく生きることができるよう、周りの大人が支えていく必要があります。

一方で、不登校の状況を問題と捉えないとしつつも、その子の将来が心配になるのも事実です。その子にどのような居場所があるのか、どのような進路が選べるのか、一緒に考えていく必要があります。学校を始めとする様々な機関が連携し、その子が笑顔で生きていくことができる道筋を一緒に探していくことも大切です。多様化に対応するのは非常に難しいことです。予算も、人的資源も限りがあります。それでも、子ども一人一人に大人たちが向き合う気概と覚悟を見せていかなければなりません。そのためにも子どもを取り巻くすべての大人が力を合わせる必要があるのです。

まずは、語り合いましょう。何かと原因と対策ばかりが求められる現代社会において、良し悪しばかりではなく「あなたはそういう人だったんだね。」と受け止めることは大切なことです。あらためて子どもに時間をかけて向き合う姿勢を、皆さんでもう一度もてるようにしていきましょう。

可児市の多様な学びの場や支援する場

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。
まずは、ご相談ください。

教育研究所（教育相談担当）

児童生徒の登校渋りが続く場合・学習や生活に不安がある場合は、まずは、教育研究所の教育相談担当までご相談ください。学校生活の悩みの相談や、学校内外の学びの場や相談機関を紹介します。

【教育研究所 ☎（0574）63-4841】

可児市 教育支援センター ☎0574-42-6481

スマイリングルーム

〈教育支援〉

基本的な生活習慣を身に付けることで、心を整えながら、同じ空間内で学習支援、体験活動を行い、自分を見つめることができる教室です。

ニコニコルーム

〈自立支援〉

ゆったりとした空間で会話やゲーム等の活動を行いながら心と体を整え、活動のエネルギーをたくわえることができる教室です。

メタスマルーム

〈メタバース支援〉

「オンライン上の教育支援センター」に見立てて、子どもたちはそこにアクセスして、学習支援や相談支援を受けることができる教室です。

学 校

＜校内教育支援センター・相談室＞

学校に行けるけど自分の学級には入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に、利用できる学校内の居場所のことです。児童生徒のペースに合わせて相談に乗ったり、学習のサポートをしたりします。

子育て支援課

不登校支援室

保護者を対象に不登校の傾向の児童生徒について相談を受け付けます。児童生徒が利用できる居場所の情報、保護者の方が利用できる「保護者の会」の情報を提供します。

可児市国際交流協会（フレビア）

外国にルーツを持つ児童生徒対象の不登校等の悩みを受け付けています。

市民支援室（子育て健康プラザ マーノ）

子育ての悩みを聞いたり、関係機関につないだりします。

可児市社会福祉協議会

暮らしの悩みを聞いたり、関係機関につないだりします。

未来を生きる あなたのために



「ほっ」とできる 居場所があります



可児市教育委員会

令和6年度改訂